



Google Cloud NetApp Volumes のドキュメント

Google Cloud NetApp Volumes

NetApp
December 29, 2025

目次

| | |
|---|----|
| Google Cloud NetApp Volumes のドキュメント | 1 |
| リリース ノート | 2 |
| 新着情報 | 2 |
| 2025年11月27日 | 2 |
| 2025年10月6日 | 2 |
| 2025年7月21日 | 2 |
| 始めましょう | 3 |
| Google Cloud NetApp Volumesについて学ぶ | 3 |
| 機能 | 3 |
| 料金 | 3 |
| サポートされている地域 | 4 |
| 助けを得る | 4 |
| 関連リンク | 4 |
| 開始ワークフロー | 4 |
| Google Cloud NetApp Volumesを設定する | 4 |
| サービスアカウントを設定する | 5 |
| 共有VPC | 5 |
| トラブルシューティング | 6 |
| Google Cloud NetApp Volumes のロールを割り当てる | 6 |
| サービス アカウント メンバーにロールを割り当てる | 6 |
| Google Cloud NetApp Volumesシステムを追加する | 7 |
| Google Cloud NetApp Volumesを使用する | 9 |
| 既存のボリュームを管理する | 9 |
| ボリュームを表示する | 9 |
| 監査ログを表示する | 9 |
| NetApp ConsoleからGoogle Cloud NetApp Volumes を削除する | 9 |
| 知識とサポート | 10 |
| サポートに登録する | 10 |
| サポート登録の概要 | 10 |
| NetAppサポートのためにNetApp Consoleを登録する | 10 |
| Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける | 12 |
| ヘルプを受ける | 14 |
| クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける | 14 |
| セルフサポートオプションを使用する | 14 |
| NetAppサポートでケースを作成する | 14 |
| サポートケースを管理する | 17 |
| 法律上の表示 | 18 |
| 著作権 | 18 |
| 商標 | 18 |

| | |
|-------------------|----|
| 特許 | 18 |
| プライバシー ポリシー | 18 |
| オープンソース | 18 |

Google Cloud NetApp Volumes のドキュメント

リリース ノート

新着情報

NetApp ConsoleでのGoogle Cloud NetApp Volumesサポートの新機能について説明します。

2025年11月27日

Google Cloud Platform の認証情報の変更

お客様がより多くのGoogle Cloud NetApp Volumesシステムをセットアップして承認するにつれて、認証情報の管理方法が変わりました。

NetApp Volumes システムの認証情報は、Cloud Key Management サービスなどの Google クラウド バックエンドに保存されるようになり、新しいシステムを作成するときにサービス アカウントの偽装認証情報が使用されます。

2025年10月6日

BlueXPはNetApp Consoleになりました

NetApp Consoleは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetApp Data Servicesの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、より高速なワークフロー、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetApp Consoleのリリースノート](#)"。

2025年7月21日

BlueXPでのGoogle Cloud NetApp Volumesのサポート

BlueXPからGoogle Cloud NetApp Volumes を直接管理できるようになりました。

- 作業環境を追加します。
- ボリュームを表示します。
- 作業環境を削除します。

始めましょう

Google Cloud NetApp Volumesについて学ぶ

Google Cloud NetApp Volumes は、高度なデータ管理機能と高度にスケーラブルなパフォーマンスを提供する、完全に管理されたクラウドベースのデータ ストレージ サービスです。

NetApp Volumes は、オンプレミス ストレージのパフォーマンスと機能を維持しながら、導入時間を短縮し、ワークロードとアプリケーションを管理し、ワークロードをクラウドに移行するのに役立ちます。



Google Cloud NetApp Volumes の使用を開始するには、適切な権限と、Google Cloud NetApp Volumes 管理者または Google Cloud NetApp 閲覧者のロールが割り当てられている必要があります。"[NetAppボリュームのアクセスロールを割り当てる](#)"。

Add new roles

Associate role in organization, folder, or project

Add role

| Organization, folder or project | Category | Role | |
|---------------------------------|-------------|-----------------------------------|--|
| test-workspace | Application | Google Cloud NetApp Volumes admin | |

Add new roles

Cancel

機能

- エンタープライズ アプリをより高速かつ効率的に実行します。
- クラウド ストレージのコストを最大 90% 削減します。
- 稼働時間、可用性、セキュリティの要件を満たします。
- NFS、SMB、マルチプロトコル環境をサポートします。

料金

Google Cloud NetApp Volumesによって作成されたボリュームは、NetApp Consoleではなく、サービスのサブスクリプションに対して課金されます。

NetApp ConsoleからGoogle Cloud NetApp Volumes のリージョンまたはボリュームを検出しても料金はかかりません。

サポートされている地域

["サポートされているGoogle Cloud NetApp Volumes のリージョンを表示"](#)

助けを得る

技術サポートについては、Google Cloud ポータルからリクエストを記録してください。Google Cloud サブスクリプションと、ストレージの下にある * Google Cloud NetApp Volumes* サービスを選択します。必要な情報を入力してください。

Google Cloud NetApp Volumesに関する一般的な質問については、NetApp の Google Cloud チーム (gcinfo@netapp.com) にメールでお問い合わせください。

クラウド ボリュームに関連する技術的な問題については、Google Cloud Console からテクニカル サポート ケースを作成できます。見る ["サポートの取得"](#) 詳細については。

関連リンク

- ["Google Cloud NetApp Volumes のドキュメント"](#)
- ["NetApp Consoleのコピーと同期のドキュメント"](#)

開始ワークフロー

Google Cloud をセットアップし、システムを作成して、Google Cloud NetApp Volumes の使用を開始します。

1

"Google Cloud NetApp Volumesを設定する"

Google からサービス アカウントを作成します。

2

"役割を割り当てる"

NetApp Consoleから、メンバーに適切なロールを割り当てます。

3

"システムを追加する"

NetApp Consoleから、システムの追加 をクリックし、次に **Google Cloud Platform** をクリックし、次に * Google Cloud NetApp Volumes* をクリックし、最後に 検出 をクリックします。サービス アカウントと Google Cloud プロジェクトに関する詳細を入力します。

Google Cloud NetApp Volumesを設定する

NetApp Consoleには、Google Cloud サービス アカウントを介した適切な権限が必要です。

NetApp ConsoleがGoogle Cloud プロジェクトにアクセスできるように、次のタスクを完了します。

- 既存のサービス アカウントがない場合は、新しいアカウントを作成してください。
- なりすましのアクセスを許可します。
- 共有プロジェクトに IAM ロールを付与します。

サービスアカウントを設定する

1. Google Cloud コンソールでは、"[サービスアカウントページに移動します](#)"。
2. *プロジェクトを選択*をクリックし、プロジェクトを選択して*開く*をクリックします。
3. サービス アカウントを作成するには、次の手順を実行します。
 - a. *サービス アカウントの作成*をクリックします。
 - b. サービス アカウント名 (フレンドリ表示名) と説明を入力します。

Google Cloud Console はこの名前に基づいてサービス アカウント ID を生成します。必要に応じて ID を編集します。後で ID を変更することはできません。

- c. *作成して続行*をクリックします。
- d. 役割リストから、* Google Cloud NetApp Volumes管理者* または * Google Cloud NetApp閲覧者* の役割を選択します。
- e. *続行*を選択します。
- f. このサービス アカウントへの偽装アクセスを許可します: credentials-sa@wf-production-netapp.iam.gserviceaccount.com。詳細については、"[自己署名JSON Web Token \(JWT\) を作成する](#)"。

NetAppが所有するサービス アカウントは、そのサービス アカウントの秘密キーにアクセスすることなくそのサービス アカウントとして動作できるようにする、有効期間の短いアクセス トークンを要求するために使用されます。

- g. ページの下部にある [完了] をクリックして、次の手順に進みます。

共有VPC

サービス アカウントを使用する追加の GCP プロジェクトごとに、次の操作を行います。

1. IAM ページ で、プロジェクト ドロップダウン メニューから共有 VPC ホスト プロジェクトを選択します。
2. *プリンシパルの追加*をクリックします。
3. [新しいプリンシパル] フィールドに、サービス アカウントのメール アドレスを入力します。
4. [役割の選択] ドロップダウンから、* Google Cloud NetApp Volumes管理者* 役割を選択します。
5. *保存*をクリックします。

詳細な手順については、Google Cloud のドキュメントを参照してください。

- "[サービス アカウントの作成と管理](#)"
- "[Google Cloud NetApp Volumes のロールと権限](#)"

- "リソースへのアクセスの許可、変更、取り消し"

トラブルシューティング

エラーが発生した場合は、**iam.disableCrossProjectServiceAccountUsage** ポリシーが適用される場合があります。これを修正するには、次の手順を実行します。

1. Google Cloud コンソールで、"[組織ポリシーページ](#)"。
2. プロジェクト間のサービス アカウントの使用を無効にする ポリシーを見つけて無効にします。

次の手順

"[Google Cloud NetApp Volumes のロールを割り当てる](#)"。

Google Cloud NetApp Volumes のロールを割り当てる

Google Cloud NetApp Volumesの使用を開始するには、NetApp Consoleでメンバーに正しいロールを割り当てる必要があります。詳細については、"[すべてのサービスに対するNetApp Consoleのアクセスロールについて学習します](#)"。

サービス アカウント メンバーにロールを割り当てる

1. ログイン "[NetApp Console](#)"。
2. *管理*を選択し、次に*IDとアクセス*を選択します。
3. アクションメニューを選択  役割を割り当てるメンバーの横にある をクリックし、[役割の追加] を選択します。
4. ロールを追加するには、ダイアログ ボックスの手順を完了します。

- a. フォルダーまたはプロジェクトを選択: メンバーに権限を与えるリソース階層のレベルを選択します。

フォルダーを選択した場合、メンバーにはフォルダー内にあるすべてのものに対する権限が与えられます。

- b. *カテゴリ*ドロップダウンから、*アプリケーション*ロールカテゴリを選択します。 <https://docs.netapp.com/us-en/console-setup-admin/reference-iam-predefined-roles.html>["アクセスロールについて学ぶ"]。
- c. ロール ドロップダウンから、選択したフォルダーまたはプロジェクトに関連付けられているリソースに対する権限をメンバーに付与するロールを選択します。

Important: 次のロールの 1 つまたは両方を追加する必要があります。

- *Google Cloud NetApp Volumes* 管理者 または
 - *Google Cloud NetApp Volumes* ビューア
- d. ロールの追加: 組織内の追加のフォルダーまたはプロジェクトへのアクセスを許可する場合は、「ロールの追加」を選択し、別のフォルダーまたはプロジェクトまたはロール カテゴリを指定してから、ロール カテゴリと対応するロールを選択します。
5. *新しいロールを追加*を選択します。

次の手順

"[Google Cloud NetApp Volumesシステムを追加する](#)".

Google Cloud NetApp Volumesシステムを追加する

サービス アカウントを設定したら、NetApp ConsoleでGoogle Cloud NetApp Volumesシステムを追加して、Google Cloud NetApp Volumesインスタンスを表示できるようにします。

このサブスクリプションのクラウド ボリュームがシステムに表示されます。



複数の Google Cloud プロジェクトにサブスクリプションとボリュームがある場合は、プロジェクトごとにこのタスクを実行する必要があります。

開始する前に

各プロジェクトのサブスクリプションを追加するときは、次の情報を用意しておく必要があります。

- Google サービス アカウントのメールアドレス
- プロジェクト名

手順

1. NetApp Consoleメニューから、**ストレージ** を選択し、次に **管理** を選択します。
2. [システム] ページで、[システムの追加] を選択し、[Google Cloud Platform] を選択します。
3. * Google Cloud NetApp Volumes* の横にある **Discover** を選択します。
4. NetApp Volumes サブスクリプションに関する情報を入力してください。
 - a. 使用するシステム名を入力します。
 - b. 関連付けられている Google サービス アカウントのメール アドレスを貼り付けます。詳細については、"[サービスアカウントを設定する](#)".
 - c. プロジェクト名とリージョンを取得するには、「資格情報を適用」を選択します。
 - d. *プロジェクト名*から、Google Cloud プロジェクトの名前を選択します。
 - e. *リージョン*から、システムを作成するリージョンを選択します。リージョンは、Google Cloud NetApp Volumesでサポートされているリージョンのいずれかである必要があります。
 - f. *Discover*を選択します。

結果

コンソールにGoogle Cloud NetApp Volumesシステムが表示されます。



次の手順

"ボリュームを表示する"。

Google Cloud NetApp Volumesを使用する

既存のボリュームを管理する

既存のボリュームと、それらに対して実行したアクションを表示できます。

必要な**NetApp Console**のロール Google Cloud NetApp Volumes管理者またはGoogle Cloud NetApp Volumes閲覧者のロール。"[すべてのサービスに対するNetApp Consoleのアクセスロールについて学習します](#)"。

ボリュームを表示する

ボリュームの名前、数、リージョン、容量、使用容量、ストレージ プールなどのボリュームの詳細を表示します。

手順

1. *システムに入る*をクリックしてシステムを開きます。
2. 表内の特定のボリュームを表示するには、 ボリューム名を入力します。
3. ボリュームに関連付けられているラベルを表示するには、[ラベル] 列で [表示] を選択します。

監査ログを表示する

ボリュームに対して実行されたすべてのアクションをタイムラインで表示できます。

手順

1. 右上で*設定*を選択し、次に*タイムライン*を選択します。

結果

監査ログ テーブルでは、ボリュームに対して実行されたすべてのアクションを表示できます。

NetApp ConsoleからGoogle Cloud NetApp Volumes を削除する

Google Cloud NetApp Volumesサブスクリプションと既存のすべてのボリュームをNetApp Consoleから削除できます。ボリュームは削除されず、NetApp Console内のすべてのプロジェクトから削除され、後で再検出できるようになります。



NetApp ConsoleからGoogle Cloud NetApp Volumesを削除することはできません。このアクションは、Google Cloud Console を使用して実行します。

手順

1. システムを開きます。
2. クリック  ページ上部のボタンをクリックし、[削除] をクリックします。

知識とサポート

サポートに登録する

NetApp Consoleとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetApp Consoleアカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetApp Consoleによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetApp Consoleアカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のNetApp顧客であり、既存のライセンスとシリアル番号を持っているものの、NSS アカウントを持っていない場合は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

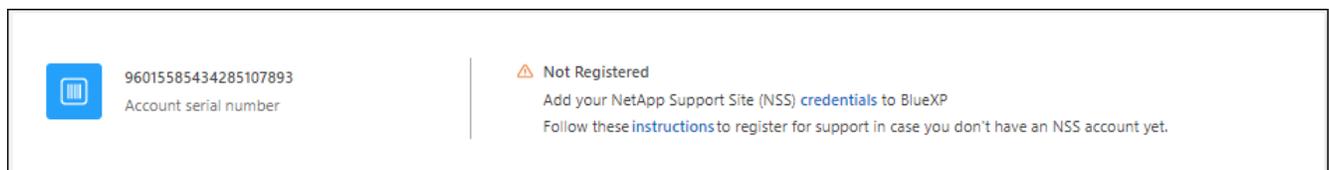
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使用したコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。 [NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証

メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"

- a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
- b. 上記で使用したアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

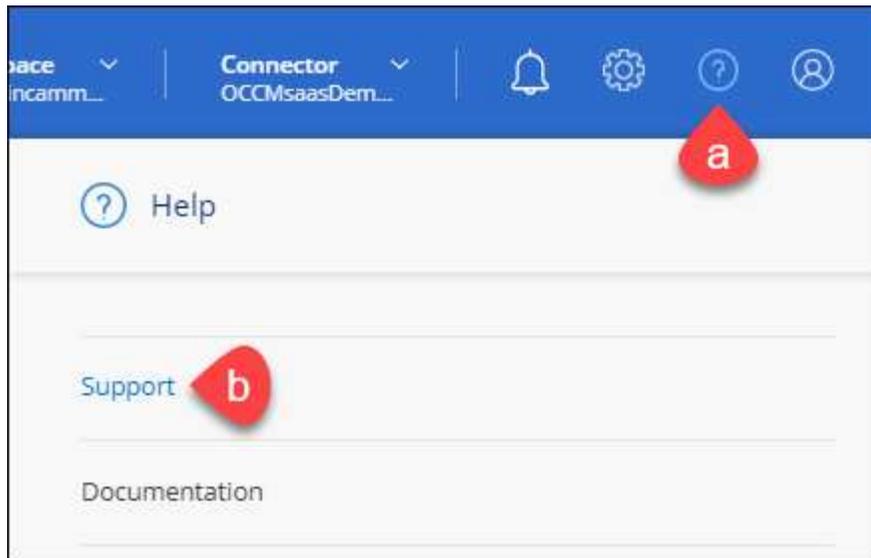
NSS 資格情報をNetApp Consoleアカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられているNSS アカウントとは異なります。

これらのNSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント IDに関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS** 管理 からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときに、パートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

ヘルプを受ける

NetApp は、NetApp Consoleとそのクラウド サービスをさまざまな方法でサポートします。ナレッジ ベース (KB) 記事やコミュニティ フォーラムなど、豊富な無料のセルフ サポート オプションが 24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントを参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

NetAppとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、以下に説明するサポート オプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24 時間 365 日無料でご利用いただけます。

- [ドキュメント](#)

現在表示しているNetApp Consoleのドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

NetAppナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

NetApp Consoleコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフ サポート オプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポート スペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- *ケースの作成*機能を使用するには、まずNetAppサポート サイトの資格情報をコンソール ログインに関連付ける必要があります。 ["コンソールログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSS アカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

手順

1. NetApp Consoleで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *リソース*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
 - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
 - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、* NetApp Console* は、コンソール内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合です。
 - システム: ストレージに該当する場合は、* Cloud Volumes ONTAP* または **On-Prem** を選択し、関連する作業環境を選択します。

システムのリストは、コンソール組織と、上部のバナーで選択したコンソール エージェントの範囲内にあります。

- ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。

- 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細な説明を入力します。
- 追加のメールアドレス: この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
- 添付ファイル (オプション): 一度に 1 つずつ、最大 5 つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

ntapitdemo 
NetApp Support Site Account

Service Working Enviroment

Select Select

Case Priority 

Low - General guidance

Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional) Upload 

No files selected  

終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする時、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウントとそれに関連付けられているレコード会社が、NetApp Consoleアカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

サポートケースを管理する

アクティブなサポート ケースと解決済みのサポート ケースをコンソールから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の 2 つのビューがあります。
 - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
 - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。

詳細については、以下の手順をご覧ください。

- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

手順

1. NetApp Console で、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *ケース管理* を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをコンソールに追加します。

ケース管理 ページには、コンソール ユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
 - *組織のケース* の下で *表示* を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
 - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。
 - 列の内容をフィルタリングします。
 - 表に表示される列を変更するには、 次に、表示する列を選択します。
4. 既存のケースを管理するには、 利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
 - ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、*ファイルのアップロード* を選択して最大 5 つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。

法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["NetApp Consoleに関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。